

(公財)全日本仏教会 公開WEBシンポジウム

仏教とSDGs

現代社会における仏教の平等性とは
～女性の視点から考える～

8月25日(火) 午後2時～

参加無料

定員：100名

後援：(公財)日本宗教連盟

(公財)全日本仏教会は2018年に開催したWFB世界仏教徒会議日本大会において東京宣言を採択し、SDGsの具現化を進めております。

SDGsが掲げる17の目標のうち、ジェンダー平等の実現への取り組みとしてシンポジウムを企画いたしました。

仏教界は伝統的に男性社会であるといえます。

檀信徒・門徒に目を向けても、寺院との関わりは男性が中心でした。しかし、近年は女性が寺院を承継したり、人口動態から見ても祭祀承継者となる可能性も高く、寺院と関わる場は増えています。なにより、多様性を尊重する社会において、様々な方の意見に耳を傾けることが、今一度、仏教の価値を見出すことにも繋がります。

年齢や性別の違いによる固定観念を払拭し、男女問わず全ての個人が対等に社会の中で能力や個性を十分に発揮し、平等に機会を与えられ活動するために、仏教界がどう変わっていくのか、何ができるのか学びを深めて参ります。

パネリスト



田中優子
法政大学総長



村木厚子
津田塾大学客員教授



岡田真水
日蓮宗僧侶
兵庫県立大学名誉教授

コーディネーター



戸松義晴
全日本仏教会理事長

全日本仏教会WEBページ又は、
下記リンクよりお申込みください。

申込み締切：8月24日



<https://forms.gle/2rdsS58QkDNK3qtDL8>